

# 能登地震大災害 原発の危険性目の当たりに 柏崎刈羽原発再稼働 NO! 今こそ廃炉に!

**志賀原発に地震の深刻な影響  
地震国に原発は危険過ぎます**

元日に突然襲った大地震は各地に甚大な被害をもたらしました。原発も例外ではありません。能登半島にある志賀原発では、変圧器が破損し大量の油が漏れ出し、外部電源の一部が使用不能に。油漏れの量は当初の発表の5倍もの量でした。北陸電力や規制委は、想定を超える活断層が動き、想定を上回る揺れや津波、地盤の変化があった、施設内の変圧器が先に壊れ受電できない事態も想定外であったとしています。重大事故に繋がる危険があり「想定外」では済まされません。地震活動が活発なエリアが150kmに及び佐渡沖まで伸びていると言います。実際に佐渡近海を震源とする地震も発生しました。柏崎刈羽原発の目の前です。影響が懸念されます。能登半島ではいたる所で道路が寸断。地震で原発事故が起きたら逃げることもかたやしません。今こそ柏崎刈羽原発「廃炉」の決断を下す時です。

**緊急学習会開催!! へ参加を!**

立石雅昭さん(新潟大学名誉教授)地質学が語る

「能登半島地震と柏崎刈羽原発」

☆2月12日(月・休) 午後1時30分

☆まちなかキャンパス5F交流ルーム

(詳しくは同封のチラシをご覧ください)



2024年最初の11日行動。1月11日(木)アオーレ前、14人でアピールしました。

**それでも再稼働ですか?!**

◆岸田首相は14日「地元の理解を得ながら進める政府方針は全く変わらない」と発言。国民の命に責任を持つとする姿勢が全く感じられません。

◆再稼働に道を開く「運転禁止解除」について、東電が説明会。

今月下旬に柏崎と刈羽、その後新潟市、長岡市、上越市でも予定。再稼働を許さない世論で包囲を!

◆重大事故時、避難する道路は寸断、屋内退避する家はない。

能登地震被災地の現実から想定される避難の困難さを前に、山中規制委員長は「放射線防護ができる施設の充実を」と発言。

再稼働前提である限り果てしない対策に追われます。廃炉が最も確実に安全な道です。

**東電福島第一原発事故から**

**13年の3月11日がやってきます**

今年も当日午後2時半から集会を開催。黙祷後市内をパレードする予定です。ご参加を!

2月のアオーレ前 署名・宣伝11日行動は 2/11(日) 12時から ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
第142号 2024年1月22日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
電話・FAX 0258-24-2870  
佐藤 090-4925-3707